

企業連携出前授業 第6回

- ◆ 日時 令和2年7月15日（水）10：45～11：35 1コマ
- ◆ 企業 (有)サンパック
- ◆ 講師 森 和美 様
- ◆ 学校 鳥取市立高草中学校
- ◆ 対象 1-3年生 12名
- ◆ 内容 段ボールを使った強度実験



(有)サンパック 森 会長

この日は、(有)サンパック様が県内企業と共同開発された、フェイスシールド「ORIGAMI」を各自で作って、それを被って授業を受けました。まず、同社が開発された段ボール製の「ラ・イ・ス・パック」という応急処置用固定具について説明を受け、実際に首や腕に装着して、段ボールの強さを確認できました。その他、災害時には段ボールの強度を活かした簡易ベッドなどに幅広く利用されている事を学びました。その後、講師をしていただいた森会長の体験談から、「友達を多く作ること」「好きなことを見つけること」が大切であると貴重なお話も伺うことができました。授業の終わりには、発明協会から「発明楽」(注1)について説明をし、今日の授業は「発明楽」のどれに当てはまるか質問したところ、(有)サンパックさんの技術は「かけ算」(技術の転用)であることを、見事正解していただきました。

(注1：「発明楽」^{はつめいらく}とは発明を生み出す4つの発想スキル +、-、×、÷)



★児童アンケートより★

- ・箱としてだけではなく、ギブスなどの他の物もダンボールの良いところが活かされていることを知りました。
- ・ダンボールのことだけでなく、人とのつながり、好きなことを続ける大切さなど、将来において大切なことも知ることができました。
- ・ダンボールが人のくらしの役に立っていてすごいと思いました。
- ・ダンボールは包むだけではないということが分かりました。